

# 東村山 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：小糸） （2組：秋本） （3組：秋本） （4組：小糸） （5組：小糸） （6組：秋本）

使用教科書：（数研出版 改訂版 新編 生物基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然現象について、理解するとともに観察・実験技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然現象について、特徴を見出して表現している。

【学びに向かう力、人間性等】 自然現象の理解に主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、理解するとともに観察実験技術を身に付ける	生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、特徴を見出して表現している	生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、主体的にかかわり、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>生物の特徴</p> <p>【知識及び技能】 生物の特徴や遺伝子とその働きを理解しているとともに、それらの観察・実験などに関する技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察・実験などを通して探究し、多様な生物が持つ共通の特徴を見出して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物の特徴に主体的にかかわり見通しを持った振り返りをするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	<p>・指導事項 細胞の共通性 原核細胞と真核細胞 光合成・呼吸 酵素 DNAの構造 遺伝子のはたらき 遺伝子の発現 タンパク質</p> <p>・教材 教科書・副教材・授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確に書かれている。 実験の手順等が正確に書かれている。</p> <p>【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確に書かれている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 検査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。</p>	○	○	○	24
	定期考査			○	○		
2 学 期	<p>ヒトの体の特徴</p> <p>【知識及び技能】 ヒトの体の調節について、神経系と内分泌系による調節、免疫を理解しているとともに、それらの観察・実験に関する技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、観察・実験などを通して探究しm神経系と内分泌系による調節、及び免疫などの特徴を見出して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ヒトの体の調節に主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。</p>	<p>・指導事項 自律神経系と内分泌系 体内環境の維持 自然免疫 獲得免疫</p> <p>・教材 教科書・副教材・授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確に書かれている。 実験の手順等が正確に書かれている。</p> <p>【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかかれている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 検査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。</p>	○	○	○	26
	定期考査			○	○		
3 学 期	<p>生物の多様性と生態系</p> <p>【知識及び技能】 生物の多様性と生態系について、植生と繊維生態系とその保全を理解しているとともに、それらの観察・実験に関する技術を身に付けている。また、生態系の保全の重要性について認識している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察・実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見出して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物の多様性と生態系に主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。</p>	<p>・指導事項 植生 バイオーム 遷移 生態系のバランスと保全</p> <p>・教材 教科書・副教材・授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確に書かれている。 実験の手順等が正確に書かれている。</p> <p>【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかかれている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 検査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。</p>	○	○	○	20
	定期考査			○	○		
						合計	70





# 東村山 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理

教科：理科

科目：物理

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：橋本 明美

使用教科書：（東京書籍 物理

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象についての観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物理的な事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>様々な運動</p> <p>【知識及び技能】 物体の運動についての観察、実験などを通して、様々な運動について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な物体の運動について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な運動についての事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①平面内の運動と剛体のつりあい ②運動量 ③円運動と単振動 ④万有引力 ⑤気体の分子運動</p> <p>・教材 教科書・副教材・授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 物体の運動について理解するとともに、実験の技能を身に付けている。 基本的な単位の換算ができる。 【思考・判断・表現】 物体の運動などの観察、実験を行い、科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 物体の運動などに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	○	○	○	52
	定期考査			○	○		
2 学 期	<p>波</p> <p>【知識及び技能】 波動現象についての観察、実験などを通して、波について、日常生活や社会と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 波について、観察、実験などを通して探究し、規則性や関係性を見いだして表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 波についての事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①波の伝わり方 ②音 ③光</p> <p>・教材 教科書・副教材・授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 波の性質や音や光の関係について理解するとともに、実験の技能と身の周りの波動現象について探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 波の性質や音や光の関係についての観察、実験を行い、規則性や関係性を見いだして表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の周りの波動現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	○	○	○	66
	定期考査			○	○		
3 学 期	<p>電気と磁気</p> <p>【知識及び技能】 電気や磁気に関する現象についての観察、実験などを通して、電気や磁気について日常生活や社会と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電気や磁気について、観察、実験などを通して探究し、電気と電流、電流と磁界における規則性や関係性を見いだして表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 転機と磁気についての事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>①電気と電流 ②電解と電位 ③電流と磁界</p> <p>・教材 教科書・副教材・授業プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 電気と磁気について理解するとともに、実験の技能と身の周りの電気や磁気について探究する方法を身に付けている。 【思考・判断・表現】 電気と磁気についての観察、実験を行い、身の周りの電気に関する事柄を科学的に探究する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 電気と磁気、電気の利用に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。</p>	○	○	○	22
							合計
							140

# 東村山 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 選択生物

教科：理科

科目：選択生物

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：（小糸）

使用教科書：（実教出版 生物

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 自然現象について、理解するとともに観察・実験技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然現象について、特徴を見出して表現している。

【学びに向かう力、人間性等】 自然現象の理解に主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。

科目 選択生物

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、理解するとともに観察実験技術を身に付ける	生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、特徴を見出して表現している	生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、主体的にかかわり、科学的に探究しようとしてい

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生物の特徴 【知識及び技能】 生体物質や遺伝子発現を理解するとともに、観察・実験などに関する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生体物質について、観察・実験などを通して探究し、多様な生物が持つ共通の特徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生体物質や遺伝子発現に主体的にかかわり見通しと振り返りをし、科学的に探究しようとしている。	・指導事項 生体物質と細胞 生命現象を支えるタンパク質 代謝とエネルギー DNAの構造と複製 遺伝情報の発現 遺伝子の発現調節 バイオテクノロジー ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 思考問題等が正確にかけられている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 検査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。	○	○	○	48
	定期考査			○	○		
2 学 期	ヒトの体の特徴 【知識及び技能】 生物の反応について、神経系と内分泌系による調節、免疫を理解するとともに、それらの観察・実験に関する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の反応について、観察・実験などを通して探究し、神経系と内分泌系による調節、及び免疫などの特徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の反応について主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。	・指導事項 多様な個体が生じる有性生殖 動物の発生 動物の発生のしくみ 植物の発生 動物の刺激と受容と反応 動物の行動 植物の環境応答 生態と環境 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 思考問題等が正確にかけられている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 検査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。	○	○	○	52
	定期考査			○	○		
3 学 期	生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の進化について、植生と繊維生態系とその保全を理解するとともに、それらの観察・実験に関する技術を身に付けている。また、生態系の保全の重要性について認識している。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察・実験などを通して探究し、生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の進化に主体的にかかわり、見通しを持った振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。	・指導事項 生命の起源と生物の変遷 進化のしくみ 生物の系統 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかけられている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 思考問題等が正確にかけられている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 検査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。	○	○	○	40
	定期考査			○	○		
						合計	140

# 東村山 高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 理科 科目 化学

教科：理科 科目：化学

単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（磯野）

使用教科書：（ 数研出版 新編 化学 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然現象について、理解するとともに観察・実験技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然現象について、特徴を見出して表現している。

【学びに向かう力、人間性等】 自然現象の理解に主体的にかかわり、見通しを持ちたり振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。

科目 化学 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質とその変化についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
				○	○	○	
1 学 期	<p>● 固体の構造</p> <p>【知識及び技能】 固体の結晶格子の概念とそれぞれの結晶の構造について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 固体の結晶格子について表現し、それぞれの違いについて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 結晶格子の違いから性質の違いを自ら学ぶ。</p>	<p>● 指導事項</p> <p>結晶とアモルファス 金属結晶 イオン結晶 分子間力と分子結晶 共有結合の結晶 ● 教材 ● 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 様々な固体の結合を理解するとともに、科学的に探究する方法を理解する。身近な物質の探究に必要な観察技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 身近な物質の探究に関する事象・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考え方を的確に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物質の探究に関する事象・現象に主体的に関わり、それらに対する気付きからさらに探究しようとする態度を身に付けている。</p>	○	○	○	6
	<p>● 物質の状態変化</p> <p>【知識及び技能】 状態変化に伴うエネルギーの出入りや化学結合と融点、沸点の関係を理解するとともに、気液平衡や蒸気圧、状態図についても理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 エネルギー変化のグラフから発生したエネルギーや吸収したエネルギーについて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 原子の動きから状態変化が起きていることや、状態の違いについて興味を持つ。</p>	<p>● 指導事項</p> <p>粒子の熱運動 三態の変化とエネルギー 気液平衡と蒸気圧 ● 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 物質の状態変化について理解するとともに、化学的に探究する方法を理解する。また、エネルギーの出入りについて理解する。 【思考・判断・表現】 状態変化に関する事象・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を化学的に考察し、導き出した考え方を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態変化に関する事象・現象に主体的に関わり、さらに探究しようとする態度を身に付けている。</p>	○	○	○	6
	<p>● 気体</p> <p>【知識及び技能】 気体に関する事象について理解するとともに、理想気体・実在気体との違いについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 気体の状態方程式から体積の膨張等を求めることができ、実在気体を理想気体に近づける条件について表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 気体の違いについて興味を持ち、主体的に学ぶことができる。</p>	<p>● 指導事項</p> <p>気体の体積 気体の状態方程式 混合気体の圧力 実在気体 ● 教材 ● 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 気体に関する事象について理解するとともに、科学的に探究する方法を理解する。 【思考・判断・表現】 気体について状態方程式を用いて密度や分子量を求めるとともに、理想気体と実在気体との違いについて表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 気体に関する事象・現象に主体的に関わり、探究しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	11
	<p>● 溶液</p> <p>【知識及び技能】 溶液に関する事象について理解するとともに溶解点効果といった現象が起こることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 溶液の濃度から蒸気圧や凝固点降下の変化について表現するとともに、溶液に関する計算について行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 溶液の違いについて興味を持ち、主体的に学ぶことができる。</p>	<p>● 指導事項</p> <p>溶液とそのしくみ 溶解度 希薄溶液の性質 コロイド溶液 ● 教材 ● 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 溶液に関する事象について理解するとともに科学的に探究する方法を理解する。 【思考・判断・表現】 溶液の濃度から蒸気圧降下や蒸気圧について計算を行うことができる。また、溶液に関する特徴について表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 溶液に関する事象・現象について主体的に関わり、探究しようとする。</p>	○	○	○	12
	<p>● 化学反応とエネルギー</p> <p>【知識及び技能】 化学反応に伴う熱量をエンタルピー変化を理解するとともにそれぞれの結合のエンタルピーについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 反応エンタルピーの種類を判断することで、目的のエンタルピー変化を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 エンタルピー変化について興味をもち、主体的に学ぶことができる。</p>	<p>● 指導事項</p> <p>化学反応と熱 化学反応と光 ● 教材 ● 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 エンタルピーに関する事象について理解するとともに科学的に探究する方法を理解する。 【思考・判断・表現】 化学反応に伴う熱量のエンタルピー変化を計算で求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学反応に伴う熱量について主体的に関わり、探究しようとする。</p>	○	○	○	10
	<p>● 電池と電気分解</p> <p>【知識及び技能】 電池の仕組みについて酸化還元反応と関連付けて理解するとともに、具体的な電池の構造について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電池の構造から正極負極について考えることができるとともにファラデー法則に基づいて電気分解の量の関係について計算することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 電池の仕組みや構造について興味をもち、主体的に学ぶことができる。</p>	<p>● 指導事項</p> <p>電池 電気分解 ● 教材 ● 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 電池の構造や仕組みについて理解するとともに、科学的に探究する方法を理解する。 【思考・判断・表現】 電気分解における量的関係について計算することができる。電池の構造から電子の動きについて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 電池に関する事象・現象について主体的に関わり、探究しようとする。</p>	○	○	○	8
	<p>● 化学反応の速さとしきみ</p> <p>【知識及び技能】 化学反応の反応速度の表し方を理解するとともに反応条件についても理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 化学反応の反応条件から反応の仕組みについて考えると、触媒について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 化学反応について反応速度に影響を与える要因について興味をもち、主体的に学ぶことができる。</p>	<p>● 指導事項</p> <p>化学反応の速さ 反応条件と反応速度 化学反応のしくみ ● 教材 ● 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 化学反応の反応速度について理解するとともに、科学的に探究する方法を理解している。 【思考・判断・表現】 反応速度の表し方、それを求めることができる。触媒の利用例について表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学反応に関する事象・現象について主体的に関わり、探究しようとする。</p>	○	○	○	8
	<p>● 化学平衡</p> <p>【知識及び技能】 化学平衡について理解するとともにそれにかかわる原理や法則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 化学平衡について条件を変更することで平衡がどのように移動するか考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 化学平衡について興味をもち、主体的に学ぶことができる。</p>	<p>● 指導事項</p> <p>可逆反応と化学平衡 平衡状態の変化 濃度や温度の化学平衡 ● 教材 ● 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 化学平衡の原理や法則について理解している。 【思考・判断・表現】 化学平衡が条件を変更することによって平衡がどのように移動するかについて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 化学平衡に関する事象や現象について主体的に関わり、探究しようとする。</p>	○	○	○	14
	<p>● 無機物質</p> <p>【知識及び技能】 無機物質について理解するとともに、その性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 無機物質についてそれらの性質について説明できるとともにその実験室的製法について順序立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 無機物質について興味をもち、主体的に学ぶことができる。</p>	<p>● 指導事項</p> <p>元素の分類と周期表 非金属元素 金属元素（典型元素） 金属元素（遷移元素） ● 教材 ● 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 無機物質について理解し、その性質についても理解する。 【思考・判断・表現】 無機物質について説明することができる。またそれらの製法について正しく説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 無機物質に関する事象や現象について主体的に関わり、探究しようとする。</p>	○	○	○	18
	<p>● 有機化合物</p> <p>【知識及び技能】 有機化合物について理解するとともに、その性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物についてそれらの性質について説明できるとともにその実験室的製法等について順序立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 有機化合物について興味をもち、主体的に学ぶことができる。</p>	<p>● 指導事項</p> <p>有機化合物の分類と分析 脂肪族炭化水素 アルコールと糖類 芳香族炭化水素 ● 教材 ● 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 有機化合物について理解し、その性質についても理解する。 【思考・判断・表現】 有機化合物について説明することができる。またそれらの製法について正しく説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 有機化合物に関する事象や現象について主体的に関わり、探究しようとする。</p>	○	○	○	28
<p>● 高分子化合物</p> <p>【知識及び技能】 高分子化合物について理解するとともに、その性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物についてそれらの性質について説明できるとともにその実験室的製法等について順序立てて説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 高分子化合物について興味をもち、主体的に学ぶことができる。</p>	<p>● 指導事項</p> <p>高分子化合物の性質 天然高分子化合物 合成高分子化合物 ● 教材 ● 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 高分子化合物について理解し、その性質についても理解する。 【思考・判断・表現】 高分子化合物について説明することができる。またそれらの製法について正しく説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物に関する事象や現象について主体的に関わり、探究しようとする。</p>	○	○	○	19	
							合計
							140



東村山 高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科

理科 科目 理科基礎

教科： 理科

科目： 理科基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年

教科担当者： 秋本

使用教科書：（ 数研出版 新編 生物基礎 ）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 自然現象について、理解するとともに観察・実験技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然現象について、特徴を見出して表現している。

【学びに向かう力、人間性等】 自然現象の理解に主体的にかかわり、見通しを持ったり振り返りをするなど科学的に探究しようとしている。

科目 理科基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、理解するとともに観察実験技術を身に付ける	生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、特徴を見出して表現している	生物の特徴、ヒトの体、生物の多様性と生態系について、主体的にかかわり、科学的に探究しようとしてい

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生物の多様性と生態系 【知識及び技能】 生物の多様性と生態系について、植生と繊 維生態系とその保全を理解しているとも に、それらの観察・実験に関する技能を身 に付けている。また、生態系の保全の重要 性について認識している。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の多様性と生態系について、観察・ 実験などを通して探究し、生態系におけ る、生物の多様性及び生物と環境との関係 性を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の多様性と生態系に主体的にかかわ り、見通しを持った振り返りをするなど科 学的に探究しようとしている。 定期考査	・指導事項 植生 バイオーム 遷移 生態系のバランスと保全 細胞の共通性 原核細胞と真核細胞 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかかっている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかかっている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 考査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		
2 学 期	生物の特徴/ヒトの体の特徴 【知識及び技能】 生物の特徴や遺伝子とその働きを理解し ているとともに、それらの観察・実験など に関する技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生物の特徴について、観察・実験などを 通して探究し、多様な生物が持つ共通の特 徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生物の特徴に主体的にかかわり見通し を持ったり振り返ったりするなど、科学的に 探究しようとしている。 定期考査	・指導事項 光合成・呼吸 酵素 DNAの構造 遺伝子のはたらき 遺伝子の発現 タンパク質 自律神経系と内分泌系 体内環境の維持 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかかっている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかかっている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 考査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。	○	○	○	34
	定期考査			○	○		
3 学 期	免疫のはたらき 【知識及び技能】 ヒトの体の調節について、免疫を理解し ているとともに、それらの観察・実験に関 する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体の調節について、観察・実験な どを通して探究し免疫などの特徴を見出し て表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ヒトの体の調節に主体的にかかわり、見 通しを持った振り返りをするなど科学的に 探究しようとしている。	・指導事項 自然免疫 獲得免疫 ・教材 教科書・副教材・授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかかっている。 実験の手順等が正確に書かれている。 【思考・判断・表現】 授業プリント・実験プリント。 知識問題等が正確にかかっている。 実験の考察等が丁寧に書かれている。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物がしっかりと出されている。 授業に集中している。 考査ごとの振り返りにしっかりと取り組んでいる。	○	○	○	6
				○	○		合計 70